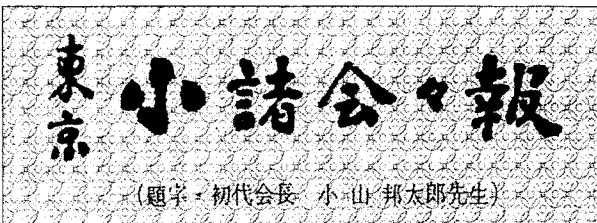


〔東京小諸会信条〕
 本会は、東京都及びその周辺に
 在住する小諸市出身者とその関係
 者をもって組織し、会員相互の親
 睦を厚くし、その向上と郷土の発
 展並びに社会文化に貢献する。



第34号
 発行日 平成22年11月6日
 編集・発行 東京小諸会

〒184-0014
 東京都小金井市貫井南町1-4-14

小山洋之介気付
 東京小諸会実行委員会

平成二十二年 東京小諸会総会・懇親会を迎えて

東京小諸会 会長 小山 洋之介

会員の皆様、ご多用のなか東京小諸
 会総会・懇親会にご出席くださり誠に
 有難うございます。お蔭様で賑やかに
 四十八回目を迎えることができました
 た。今年も故郷小諸市から芹澤勤市長
 様はじめ、福島鶴子県会議員様塩川重
 治市議会議長様、香坂勝商工会議所会
 頭様、山岸喜昭観光協会会長様並びに
 ご関係の皆様方大勢の方々にご参会を
 頂き厚く御礼申し上げます。

さて、二ヶ月ほど前の八月二十二日、
 第六十八回日の藤村忌が懐古園の藤村
 記念館前庭で催され、私は今年も参加

致しました。折からの夏の強い陽射は、
 長樹齢の大きく生い茂った樗と紅葉に
 遮られ、蝉しぐれの中で執り行われま
 した。芹澤市長の献辞に始まり、島崎
 藤村学会理事の千葉宣朗氏の講話、千
 曲小学校六年生による献歌「椰子の
 実」、草笛による「惜別のうた」ほか
 藤村ゆかりの歌が献上され、最後に参
 加者一人ひとりが献花して式は閉じら
 れました。偶々この藤村忌に来合わせ
 た観光客の方々は、物珍しそうに足を
 止め、藤村記念館を見学したり、緑陰
 の会場に流れる清らかなソプラノの歌
 曲「小諸なる古城のほとり」を聞きな

来年の東京小諸会総会・懇親会は

十一月五日(土) 如水会館二階スターホールで

来年の東京小諸会総会・懇親会は、十一月五日(土)十二時から、今年と同様、東京都千代田区一ツ橋二―一―の如水会館二階スターホールで開催することに決定いたしました。どうぞ今から予定にお入れになって、お誘い合わせ、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

平成二十二年十一月六日

東京小諸会

がら、心安らぐひと時を過ごされて、
 きつと小諸は思い出に残る場所となっ
 たことでしょう。私はこの一時間半に
 巨る藤村を偲ぶ会に参列して改めて自
 然そのままに文化の香り豊かな故郷小
 諸を誇り高く再認識しました。

新幹線が止まらなくても

話題が変わりますが、長野新幹線は、
 建設費約八千五百億円平成九年十
 月、めでたく開通しました。開通に伴
 い新幹線沿線の市町村では様々な話題
 が沸騰しました。特に新幹線が停車し
 なかった市町村では、大袈裟に言えば
 時代に乗り遅れるのではないかと大
 騒ぎとなり地元選出の国会議員の器量
 まで問われる騒ぎとなった様です。

開通して今年で十三年が経過しまし
 た。沿線市町村を取り巻く環境も落ち
 着きを取り戻し、最近の話題は、新幹
 線が通って便利にはなったが、新設さ
 れた駅舎を中心に、町並みが味気ない
 コンクリートの町に画一化されてしま
 った。大切な地方色豊かな町の景観
 が失われたと反省している市町村が多
 く、これは他の沿線でも同様という。
 それは、期待して訪れた観光客をがっ
 かりさせていると指摘されています。
 小諸には、今でも新幹線が停車した
 隣の町を羨ましく思っ居られるの方々
 が少なくないと聞きます。しかし、わ

総会・懇親会次第

- 一、 会長挨拶
- 一、 議事
- (1) 会務報告
- (2) 会計報告
- (3) 会計監査報告
- 一、 来賓紹介・祝辞
- 一、 尺八・三味線演奏
- 一、 懇親会
- (1) 県歌斉唱
- (2) 鏡開き
- (3) 乾杯
- (4) 開宴・歓談・福引
- 一、 中締め
- 一、 閉会の辞

平成21年度決算報告書

自平成21年1月1日 至平成21年12月31日 (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	184,516	総会関係費	848,136
会費収入	618,200	通信費・事務用品	57,156
広告収入	300,000	印刷費	120,000
祝儀収入	332,000	会費・祝儀	103,975
雑収入	35	雑収入	1,575
計	1,434,751	次年度繰越額	303,909
		計	1,434,751

上記の通り平成21年度決算を報告します。平成22年11月6日
 常務理事(会計) 岩崎 忠 男
 以上の報告を監査したところ正確であると認めます。
 監事 石井 敬 二

が小諸には美しい自然と藤村作品に語られた諸施設をはじめ沢山の文化遺産が保存されており、これは大変な財産といえます。ただその財産を上手に活用しているかどうか、と言えば様々な意見がありこれからの課題と言えるでしょう。

素晴らしい財産の活かし方

小諸市は、平成十一年に「スケッチ文化都市」を高らかに宣言されました。宣言の一部をご紹介しますと「小諸市は豊かな自然と歴史的環境に恵まれた詩情公園都市だ。四季折々を通じた美しい景観や歴史文化遺産を後世に引き継ぐことはもとより、市民や小諸を訪れる方々に「書く」「撮る」「創る」等の創作の場として提供する」と謳われています。テレビドラマなどで突然知名度の上がった俄か街とは違い、この書く・撮る・創るは、観光都市を目指すうえで極めて大切な要素です。小諸を訪れた方々にとって、自らが創りだす楽しみの原点です。

小諸の魅力を如何に分かり易く全国に発信するかが鍵。北原白秋の待ちぼうけの歌ではありませんが、兔を積極的に呼び込む手



立てを考えたいものです。

私は会長を仰せつかつて以来、毎年この欄で故郷小諸の発展にお役に立てばと、細やかな提案を幾つかして来ました。既に小諸市では、芹澤市長陣頭指揮のもと、街づくり計画が進められ、市のほぼ中央を東西に通る旧北国街道の街並も整備されました。投資したお金を活かす為にも、一人でも多くの観光客に小諸を訪ねてもらいたい。その為には、幅広いジャンルの人達の知恵が不可欠です。

平成二十五年完成を目指して小諸駅の新しい駅舎が計画されていると聞きます。小諸市の玄関口に相応しい駅舎の完成を期待し、これを機会に、詩情高原都市小諸を全国に売り出す総合計画を積極的に推進してはどうかと考えます。また行きたくない、人に薦めなくなる魅力ある街づくりの為に、市当局をはじめ関係各位と力を合わせて努力したいものです。

今年も総会・懇親会開催にあたり、小諸市、信州味噌(株)、三ツ和小諸そば事業部、常盤館、(株)高嶺商会、(株)香坂建設、三和シヤッター工業(株)、コミー(株)、酢重ダイニング、大塚酒造(株)、能美防災(株)、マンズワイ(株)、キックコマン(株)、サッポロビール(株)、布エスポワール、深野かよこ様並びに本会役員有志の方々に格別のご協力を頂きました。記して厚く御礼申し上げます。

東京小諸会平成二十二年総会・懇親会にあたり

小諸市長 芹澤 勤

東京小諸会の総会・懇親会が、ご来賓の皆様をはじめ大勢の会員のご出席のもとに盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。本年もまた皆様と元気に再会できますことをうれしく思います。

さて、今年の小諸の動きをお伝えしたいと思います。小諸市では今、駅舎併設複合交流センターの建設、新ごみ焼却施設の小諸市単独建設、小諸厚生総合病院の再構築と市庁舎整備という3つの大きな課題に取り組んでいます。

駅舎併設複合交流センターについては、市民ワークショップを積み重ね、現在実施設計を進めており、今年度中に着工となる予定です。そして24年秋にはバリアフリーの小諸駅舎が供用開始となり、25年度には図書館を核とした複合交流センターが完成することとなります。

2点目の新ごみ焼却施設については、長年の懸案となっておりましたが、公募方式により各区長さんをお願いしたところ、ありがたいことに4区から応募いただき、市民検討会議で慎重にご検討いただいた結果、菱野区の稲荷地区を3月に候補地と決定させていただきました。長野県内でもごみ処理施設の建設については総論賛成各論反対でまとまらないことが多いのですが、地域から手を上げていただいたということ

は画期的なことです。現在環境影響評価調査を実施しておりますが、浅間サンライン沿いの素晴らしい景観に十分配慮した先進的な施設したいと思います。平成26年度中には、リサイクルセンターを併設した新ごみ焼却施設を整備するよう現在進めています。

3点目の小諸厚生総合病院再構築と小諸市庁舎の整備については、厚生総合病院の二次救急病院としての小諸市内での存続を図り市民の安全安心を守るため、昨年3月に「街再生計画案」として市民の皆さまに提案しました。多くの議論を経て、本年4月に厚生総合病院を運営する長野県厚生連に東御市、軽井沢町、御代田町と小諸市の浅間南麓の二市二町で正式に申し入れ、8月に厚生連から正式に回答をいただきました。内容は、二次救急病院としての存続、中心市街地での再構築など市の申し入れの内容に沿ったものでした。今後関係の皆さま、市民の皆さまのご理解をいただき、健全財政を維持しながら、厚生総合病院の特色ある病院としての再構築と小諸市庁舎の整備を図り、小諸市の街再生を図ってまいります。

これら3つの重要施策を進めていくことについては多くの困難が予想されますが、いずれも将来の小諸のために欠くことので

初冬の浅間山



提供 小山洋之介氏

きないものであり、私は関係の皆さま、市民の皆さまに丁寧の説明し、ご理解をいただき推進してまいりたいと考えておりますので、東京小諸会の皆さまにもそれぞれのお立場からご意見、ご指導をお願いいたします。

嬉しい報告もございます。8月8日に執行された長野県知事選挙の開票では、小諸市は17分で開票を終えました。4年前の前の知事選挙から開票時間短縮に取り組みましたが、今回は34分でしたので2分の1の時間で終わることができました。私が喚起し続けてきた事務改善の意識が定着してきたものと思いい、職員の努力に感謝しているところです。選挙と言いますと、来年1月23日には小諸市議会議員選挙が、4月10日には長野県議会議員選挙が執行されます。小諸市では市制施行以来投票所の数は43投票所でしたが、選挙管理委員会の皆さまのご努力により、今度の市議選から投票所の数を21か所とすることになりました。これにより経費の削減が図れますが、投票率の低下にならないよう投票所行きバスの運行などの配慮したいと思っております。

交通関係では平成23年3月末には上信越自動車道の御影地籍の「佐久小諸ジャンクション」から分岐し静岡市へ通じる中部横断自動車道が「佐久南インター」まで開通する予定ですが、開通前のイベントとして11月14日には、「中部横断自動車道佐久小諸ジャンクション見学会・ハイウェイウォーク」を開催します。帰郷された折に

は道路整備の進行状況をご覧頂ければと思います。

鉄道関係では、この8月から小諸市、軽井沢町、御代田町との共同事業で、しなの鉄道小諸・軽井沢間で上下13本の増便を行いました。これにより軽井沢での新幹線の乗り継ぎがより便利になりました。またJRバス関東が運行します、新宿・小諸間の高速バスも片道2400円という低価格もあって多くの方にご利用いただいております。ぜひ周りの方にご聴いていただき、多くの皆さまに小諸においでいただき、小諸の自然、風土、文化を味わっていただきたいと思っております。

さて最後にお願ひですが、小諸市ではこの10月から医師確保のための制度として、医学生への奨学金貸与、現役医師が小諸で勤務するための就業資金貸与の2つの制度を創設いたしました。ぜひ小諸で勤務したいという医師、医学生の方がお身内にいらっしゃいましたらお薦めをお願いいたします。

近年、「ソーシャルキャピタル」という社会学、政治学の概念がよく言われます。人と人のつながりの強さが、その地域の豊かさであり、力であるという考え方がございます。皆さまとは小諸という地縁で結ばれております。このつながりの力が益々大きくなり、東京小諸会と小諸市が共々発展することを強く強くご祈念ご期待申し上げます。